

これからもずっと

私は、八幡が大好きです。八幡は、自然が豊かで、歴史も文化も息づいています。

そして、なにより私の好きなところは、地域の方の温かさです。登校中には、「おはよう。がんばってね。いつてらっしゃい。」下校中にも、「お帰り。よう歩いて帰って来たね。学校は楽しかった？」と、毎日声をかけてくださいます。私は、この言葉に励まされ6年間学校に通いました。

八幡小学校では、地域の方とたくさん触れ合うことができました。田んぼをお借りして田植えや稲刈りをしたり、敬老会で太鼓を披露させていただきました。お手玉をしたり、なかよし会では、劇を見ていただき、私達が失敗しても惜しみない拍手をしていただいたりしました。こんなに地域の方々と一緒に時間を過ごしてきたのは八幡に住んでいたからだと思っています。近所のおじいちゃんもおばあちゃんもおじいちゃんもおばあちゃんもみんな家族のように接してくださいませ。

私達の八幡小学校も来年3月で閉校です。私達が卒業すればもうこの学校に通う子ども達はいなくなります。八幡小学校がなくなると思うと涙があふれてくるぐらい悲しくなります。

でも、これからは、八幡小学校の卒業生として誇りが持てるように、残された日々の一日一日を大切にしたいです。そして、今の八幡の地域の方とのつながりをより強くして、町が一つの家族のようになることを願って、交流を深めていきたいと思っています。

みなさん、これまでありがとうございます。そして、これからもよろしくお願ひします。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第11回 —

大草小学校自慢

大草小学校は、来年3月に閉校します。私たちが最後の卒業生になります。私たちの大草にはいろんな自慢があります。その中から4つ紹介します。

まず、大草といえば「子ども神楽」が有名です。35年の歴史のあるクラブで、今では大草小学校区以外からも集まって神楽を舞っています。

2つめは、給食です。給食は、明治40年に始まりました。広島県では1番目、全国では2番目です。私は、子どもたちのために地域の方がみそ汁給食を作ってくださいましたことを知ってとてもうれしくなりました。

3つめは、アスレチックと「つどいの庭」です。アスレチックは、昭和56年にできました。アスレチックのある学校はめずらしいと思います。ほかの地域から遊びに来る人もいるほどです。「つどいの庭」の中には、「奉安殿」があり、国の登録文化財に指定されています。庭の中には池もあり、めだかやこいがいます。水車やいろいろな種類の樹木がありとてもきれいです。ここでは、よくおにごっこをして遊びます。この2つは、私たち大草小学校の子どもたちの学習や体力づくりに役立てたいと考えて、PTAと地域の方が協力しながら作ってくださいましたものです。

4つ目は、竜王山です。竜王山は、大草小学校の正面にそびえている山で、6年生の教室からもよく見えます。元日や体育の日には、早朝登山があり、頂上で「大草健走会」の方が作ってくださいました。汗を食べます。温かくてすごくおいしいです。竜王山の頂上から見る景色はともきれいです。登山の最後は、ビンゴゲームです。子どもからおじいさんおばあさんまで、みんなで行きます。このように、大草の地域の方々は、昔から学校や人とのつながりを大切にし、いろいろなものを作ってくださいました。私も大草のために何か1つでもできる人になりたいです。

